

平成24年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(非連結)

平成24年2月7日

上場会社名 スターバックス コーヒー ジャパン 株式会社

上場取引所 大

コード番号 2712 URL <http://www.starbucks.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役最高経営責任者(GEO) (氏名) 関根 純

問合せ先責任者 (役職名) 人事・管理統括オフィサー (氏名) 荻野 博夫

TEL 03-5412-7481

四半期報告書提出予定日 平成24年2月10日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成24年3月期第3四半期の業績(平成23年4月1日～平成23年12月31日)

(1) 経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
24年3月期第3四半期	80,760	4.6	6,848	19.9	7,028	19.4	3,513	269.1
23年3月期第3四半期	77,211	6.5	5,710	8.4	5,888	6.2	951	△66.1

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
24年3月期第3四半期	2,450.68	2,441.50
23年3月期第3四半期	666.43	662.80

(2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
24年3月期第3四半期	55,612	36,528	65.7	25,474.43
23年3月期	50,791	33,667	66.3	23,486.24

(参考) 自己資本 24年3月期第3四半期 36,528百万円 23年3月期 33,667百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
23年3月期	—	0.00	—	500.00	500.00
24年3月期	—	0.00	—	—	—
24年3月期(予想)	—	—	—	600.00	600.00

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成24年3月期の業績予想(平成23年4月1日～平成24年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	105,400	3.8	7,200	13.7	7,400	12.4	3,850	235.4	2,684.96

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

4. その他

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

詳細は、添付資料3ページ「2. サマリー情報(その他)に関する事項」をご覧ください。

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

24年3月期3Q	1,433,913 株	23年3月期	1,433,499 株
----------	-------------	--------	-------------

② 期末自己株式数

24年3月期3Q	— 株	23年3月期	— 株
----------	-----	--------	-----

③ 期中平均株式数(四半期累計)

24年3月期3Q	1,433,720 株	23年3月期3Q	1,428,423 株
----------	-------------	----------	-------------

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信の開示時点におきまして、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続きは終了しております。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

・平成23年10月19日に公表いたしました業績予想は、本資料において修正しておりません。

・本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、リスクや不確実性を内包しております。したがって、個人消費の動向や経済環境などの諸要因の変化により、実際の業績等は記載内容と異なる可能性があることを予めご承知おきください。

添付資料の目次

1 . 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する定性的情報	2
(2) 財政状態に関する定性的情報	2
(3) 業績予想に関する定性的情報	3
2 . サマリー情報(その他)に関する事項	3
(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
3 . 四半期財務諸表	4
(1) 四半期貸借対照表	4
(2) 四半期損益計算書	6
(3) 四半期キャッシュ・フロー計算書	7
(4) 継続企業の前提に関する注記	8
(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	8
4 . 補足情報	8
(1) 生産、受注及び販売の状況	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する定性的情報

当第3四半期累計期間におけるわが国の経済は、東日本大震災による景気の一時的な停滞からは回復の基調にあったものの、欧州の金融危機を発端とした世界経済の減速や急速な円高などにより、企業収益の悪化が懸念されている状況であります。

個人消費につきましては、経済情勢を反映し先行き不透明感から一部に弱さが残っているものの、年末商戦が好調であったこと等、底堅く推移しております。

このような状況の下、当社は次のような事業展開を行いました。

当社の強み及び特長であります「最高のコーヒー」「くつろげる空間」「パートナーによる魅力的なサービス」を生かした「サードプレイス（お客様の職場と家庭との間にあって、いつでも安心してくつろげる第三の場所）」の提供を一層強化し、ブランドの差別化に努めました。

新商品につきましては、ピバレッジでは豆乳を使用した新製法の「ソイ ストロベリー クリーム フラペチーノ[®]」や、ホリデーシーズン限定の「トフィー ナッツ ラテ」等が、フードでは「グレインブレッド BLT&エッグ」「フィローネ ホリデーチキン」「クッキー&キャラメル チーズケーキ」等が好評いただきました。

店舗展開につきましては、国内最小規模となった「EXPASA海老名サービスエリア（上り線）店」や、伝統と現代を融合させた「太宰府天満宮表参道店」等を出店いたしました。44店舗の新規出店（うちライセンス5店舗）、6店舗の退店（いずれも直営店）を行った結果、当第3四半期累計期間末における店舗数は950店舗（うちライセンス39店舗）となりました。

以上の活動の結果、売上高は80,760百万円（前年同期比4.6%増）となりました。東日本大震災の影響もあり、既存店売上高は対前年同期比99.3%となりましたが、継続的な新規出店により全体では増収となりました。

月別の既存店対前年同期比は以下のとおりであります。

	月	第1四半期	第2四半期	10月	11月	12月	第3四半期	第3四半期累計
既存店 対前年同期比	売上高	97.4%	99.1%	102.0%	101.0%	101.6%	101.5%	99.3%
	取引件数	97.1%	98.2%	101.0%	101.1%	101.5%	101.2%	98.8%
	客単価	100.3%	100.9%	101.0%	99.9%	100.1%	100.3%	100.5%

売上総利益は59,785百万円（同5.9%増）と、前年同四半期累計期間に比べて3,311百万円の増益となり、売上総利益率は74.0%（同0.9ポイント増）となりました。これは、売上原価に関しまして、コーヒー豆の価格高騰による原価率上昇の影響があったものの、為替が円高に推移したこと等によるものであります。

営業利益は6,848百万円（同19.9%増）と、前年同四半期累計期間に比べて1,138百万円の増益となりました。これは、売上総利益の増加に加え、販売費及び一般管理費率が65.5%（同0.2ポイント減）となったことによるものであります。

経常利益は7,028百万円（同19.4%増）と、前年同四半期累計期間に比べて1,140百万円の増益、四半期純利益は3,513百万円（同269.1%増）と、前年同四半期累計期間に比べて2,561百万円の増益となりました。

(2) 財政状態に関する定性的情報

当第3四半期会計期間末における総資産は、前事業年度末に比べて4,821百万円増加して55,612百万円となりました。

流動資産は、前事業年度末に比べて4,316百万円増加いたしました。これは、主に現金及び預金が3,003百万円、売掛金が1,239百万円増加したことによるものであります。

固定資産は、前事業年度末に比べて504百万円増加いたしました。これは、主に差入保証金が337百万円増加したことによるものであります。

流動負債及び固定負債は、前事業年度末に比べて1,960百万円増加いたしました。これは、主にスターバックスカードの前受金等の前受金が673百万円、未払法人税等が711百万円増加したことによるものであります。

(キャッシュ・フローの状況)

当第3四半期累計期間末における現金及び現金同等物（以下「資金」という。）は、前事業年度末に比べて3,003百万円増加し、12,430百万円となりました。

営業活動による資金の増加は、7,599百万円（前年同期差5,272百万円増）となりました。これは、主に税引前四

半期純利益が4,830百万円増加し、法人税等の支払いが1,734百万円減少したことによるものであります。

投資活動の結果使用した資金は、3,811百万円(同835百万円増)となりました。これは、主に新規出店及び既存店の改装を主目的とする有形固定資産の取得による支出が636百万円増加したことによるものであります。

財務活動の結果使用した資金は、784百万円(同187百万円増)となりました。これは、主に期末配当金が1株につき400円から500円へと100円増加したことによるものであります。

(3) 業績予想に関する定性的情報

平成24年3月期の業績予想につきましては、平成23年10月19日発表の業績予想から変更ありません。

2. サマリー情報(その他)に関する事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

(税金費用)

当第3四半期会計期間を含む事業年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

なお、法人税等調整額は、法人税等に含めて表示しております。

3. 四半期財務諸表

(1) 四半期貸借対照表

(単位：百万円)

	前事業年度 (平成23年3月31日)	当第3四半期会計期間 (平成23年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	9,427	12,430
売掛金	3,059	4,298
商品及び製品	846	887
原材料及び貯蔵品	1,611	1,339
その他	3,501	3,816
貸倒引当金	24	33
流動資産合計	18,422	22,739
固定資産		
有形固定資産		
建物(純額)	8,252	8,039
その他(純額)	3,341	3,602
有形固定資産合計	11,593	11,641
無形固定資産	1,172	962
投資その他の資産		
差入保証金	16,105	16,443
その他	3,587	3,917
貸倒引当金	89	91
投資その他の資産合計	19,603	20,269
固定資産合計	32,369	32,873
資産合計	50,791	55,612
負債の部		
流動負債		
買掛金	2,317	2,663
短期借入金	200	200
1年内返済予定の長期借入金	129	80
未払法人税等	1,246	1,957
賞与引当金	-	635
震災関連費用引当金	68	-
その他	9,147	9,532
流動負債合計	13,107	15,069
固定負債		
長期借入金	101	68
役員退職慰労引当金	20	22
資産除去債務	3,735	3,874
その他	159	50
固定負債合計	4,016	4,015
負債合計	17,124	19,084

(単位:百万円)

	前事業年度 (平成23年3月31日)	当第3四半期会計期間 (平成23年12月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	8,442	8,447
資本剰余金	11,017	11,023
利益剰余金	14,445	17,242
株主資本合計	33,906	36,713
評価・換算差額等		
繰延ヘッジ損益	238	185
評価・換算差額等合計	238	185
純資産合計	33,667	36,528
負債純資産合計	50,791	55,612

(2) 四半期損益計算書
(第3四半期累計期間)

(単位:百万円)

	前第3四半期累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年12月31日)	当第3四半期累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年12月31日)
売上高	77,211	80,760
売上原価	20,737	20,975
売上総利益	56,473	59,785
販売費及び一般管理費	50,763	52,936
営業利益	5,710	6,848
営業外収益		
受取利息	7	5
為替差益	25	37
プリペイドカード失効益	102	99
その他	107	67
営業外収益合計	243	209
営業外費用		
支払利息	5	2
支払補償費	44	-
その他	15	27
営業外費用合計	65	30
経常利益	5,888	7,028
特別利益		
店舗閉鎖損失戻入益	33	6
退移店補償金	13	39
震災関連費用引当金戻入益	-	17
その他	8	4
特別利益合計	54	67
特別損失		
減損損失	327	164
固定資産除却損	31	55
固定資産臨時償却費	705	-
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	2,852	-
その他	30	49
特別損失合計	3,947	269
税引前四半期純利益	1,996	6,826
法人税等	1,044	3,313
四半期純利益	951	3,513

(3) 四半期キャッシュ・フロー計算書

(単位:百万円)

	前第3四半期累計期間 (自 平成22年4月1日 至 平成22年12月31日)	当第3四半期累計期間 (自 平成23年4月1日 至 平成23年12月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税引前四半期純利益	1,996	6,826
減価償却費	2,810	2,936
固定資産臨時償却費	705	-
減損損失	327	164
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	2,852	-
引当金の増減額(は減少)	610	580
受取利息及び受取配当金	7	5
支払利息	5	2
為替差損益(は益)	1	2
有形固定資産除却損	44	92
店舗閉鎖損失戻入益	33	6
売上債権の増減額(は増加)	552	1,239
たな卸資産の増減額(は増加)	269	231
仕入債務の増減額(は減少)	111	346
その他	983	504
小計	7,393	10,431
利息及び配当金の受取額	7	5
利息の支払額	4	2
発行保証金の金銭信託による増減額(は増加)	800	300
法人税等の支払額	4,269	2,535
営業活動によるキャッシュ・フロー	2,326	7,599
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	2,554	3,190
無形固定資産の取得による支出	191	176
資産除去債務の履行による支出	-	28
差入保証金の差入による支出	517	760
差入保証金の回収による収入	306	364
その他	17	18
投資活動によるキャッシュ・フロー	2,975	3,811
財務活動によるキャッシュ・フロー		
長期借入金の返済による支出	97	82
株式の発行による収入	67	10
配当金の支払額	567	713
財務活動によるキャッシュ・フロー	597	784
現金及び現金同等物の増減額(は減少)	1,246	3,003
現金及び現金同等物の期首残高	9,359	9,427
現金及び現金同等物の四半期末残高	8,112	12,430

(4) 継続企業の前提に関する注記
該当事項はありません。

(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記
該当事項はありません。

4. 補足情報

(1) 生産、受注及び販売の状況

(販売実績)

当第3四半期累計期間の販売実績を品目別に示すと、次のとおりであります。

品目	当第3四半期累計期間 自 平成23年4月1日 至 平成23年12月31日		
	売上高(百万円)	売上構成比(%)	前年同期比(%)
店舗販売			
ビバレッジ	60,830	75.3	108.4
フード	11,942	14.8	100.9
コーヒー豆	3,187	3.9	79.1
コーヒー器具等	3,037	3.8	85.7
店舗販売計	78,998	97.8	104.6
その他	1,762	2.2	104.5
合計	80,760	100.0	104.6

(注) 上記の金額には、消費税等は含まれておりません。